

北斗の拳

「北斗の拳」の北斗琉拳ジュウケイの奥義はチベット語である

「お前はもう死んでいる」で一世を風靡した漫画。
「チベット語が出てくるみたいだよ」とうわさを聞いたのですが、「あたたたた！」や「うわらば！」は思い浮かんでも、どこがチベット語だったか...?
折に触れ、古書店でコミックスを探していたら、見つけました。



画像はコミックス「北斗の拳」29巻から。

紛れもないチベット文字、きれいなウ・チェン（活字体）です。

「はっ！」と言ってるのは「ジュウケイ」というキャラ。「北斗琉拳」の先代伝承者で、ケンシロウとかの師にあたる人らしいス（通して読んでないのであまり詳しくない）。

さて気になるのはこのチベット語。

「『虹の階段』を切り貼りしたらしい」というウワサも聞きました。

「虹の階段 チベット密教の瞑想修行」（ラマ・ケツン・サンポ&中沢新一著）は、チベット仏教ニンマ派の高僧が弟子に伝えた（本来は口伝になるのかな）、密教修行の詳細な解説です。「チベットのモーツァルト」に先立ち1981年初版（そんなに昔なのか...）。

ジュウケイがチベット語を唱えていたのは1988年ごろ...

原哲夫が武尊論のバックにチベット研究者のブレーンでもいたのでしょうか。気になるう。



上の画像など、どうみても「ソレ裏焼きでしょ」なチベット文字があるのもご愛嬌です。(笑)

コメントは

- 氏ね -- うんこ (2008-06-24 17:24:24)

名前:

コメント: